

アラブ首長国連邦

2021年12月16日
海外調査部・ドバイ事務所

2020年の実質GDP成長率は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受け、マイナス6.1%となった。2020年の輸出入は石油・非石油部門ともに減少した一方で、対内直接投資額は増加した。日本との貿易・投資はいずれも減少した。政府は、新型コロナ禍からの経済回復とさらなる成長に向けて、2021年は延期となっていたドバイ国際博覧会（万博）の開催や、外資誘致のための規制緩和策などを実施した。IMFは、2021年は2.2%のプラス成長に転じると予測している。

■2020年の成長率はマイナス6.1%と大幅減

2020年のアラブ首長国連邦（UAE）の実質GDP成長率はマイナス6.1%で、前年の3.4%から9.5ポイント減となった。新型コロナ感染拡大の影響を大きく受けたもので、観光が産業の軸であるドバイを擁するUAEにとって、渡航制限などの世界的なヒトの移動の減少は大きな打撃となった。また、

表1 アラブ首長国連邦（UAE）の実質GDP

（単位：100万ディルハム、2010年価格、%）

項目	2018年	2019年	2020年			
	金額	金額	金額	成長率	構成比	寄与度
需要項目別						
民間最終消費支出	501,973	551,950	483,057	△ 12.5	34.0	△ 4.6
政府最終消費支出	156,934	172,592	173,764	0.7	12.2	0.1
国内総固定資本形成	391,004	334,543	347,598	3.9	24.5	0.9
財貨・サービスの純輸出	411,826	452,520	414,456	△ 8.4	29.2	△ 2.5
財貨・サービスの輸出	1,523,589	1,503,186	1,397,587	△ 7.0	98.5	△ 7.0
財貨・サービスの輸入(控除)	1,111,763	1,050,665	983,131	△ 6.4	69.3	△ 4.5
全体	1,461,737	1,511,605	1,418,875	△ 6.1	100.0	△ 6.1
部門・産業別						
石油部門（鉱業・採石業、含：石油・ガス）	428,781	439,836	413,283	△ 6.0	29.1	△ 1.8
非石油部門	1,032,956	1,071,769	1,005,592	△ 6.2	70.9	△ 4.4
非金融部門						
卸売・小売・修理サービス業	184,359	195,917	170,250	△ 13.1	12.0	△ 1.7
製造業	122,330	125,007	125,247	0.2	8.8	0.0
建設業	127,275	130,726	117,150	△ 10.4	8.3	△ 0.9
運輸・倉庫	81,693	85,316	72,098	△ 15.5	5.1	△ 0.9
不動産業	79,322	81,973	77,247	△ 5.8	5.4	△ 0.3
電力・ガス・水・ごみ処理	42,183	43,460	42,802	△ 1.5	3.0	△ 0.0
情報通信業	43,115	44,300	46,185	4.3	3.3	0.1
専門・科学技術サービス	38,342	39,856	38,385	△ 3.7	2.7	△ 0.1
ホテル・フードサービス業	32,312	33,841	25,861	△ 23.6	1.8	△ 0.5
金融・保険業	119,051	119,544	116,008	△ 3.0	8.2	△ 0.2
政府サービス部門	78,023	77,929	79,216	1.7	5.6	0.1
全体	1,461,737	1,511,605	1,418,875	△ 6.1	100.0	△ 6.1

〔注〕2020年は暫定値のため、変更される可能性がある。主要項目のみ抽出しているため、各項目の合計は全体と一致しない。

〔出所〕UAE連邦競争・統計局から作成

2020年4月に原油先物のWTI価格が史上初めてマイナスを記録するなど、原油価格の下落も経済減速の要因となった。

実質GDP成長率を主要産業別にみると、石油部門（6.0%減）、非石油部門（6.2%減）がともに同程度の落ち込みをみせた。2桁の大幅なマイナスを記録したのは、ホテル・フードサービス業（23.6%減）、卸売・小売・修理サービス業（13.1%減）、運輸・倉庫（15.5%減）、建設業（10.4%減）で、ヒトの移動の減少による観光業やサービス業への影響がうかがえる。需要項目別にみると、民間最終消費支出が12.5%減となるなど、消費の落ち込みが大きかった。政府最終消費支出は0.7%増とわずかにプラスを保ったものの、財貨・サービスは輸出入ともに減少した。輸出の減少幅が上回り、純輸出は8.4%減と2年連続で減少した。2020年の消費者物価指数（CPI）上昇率は、前年比0.2ポイント減のマイナス2.1%で、2年連続のマイナスを記録した。不動産価格・家賃の下落が影響したとみられる。

UAEの実質GDP成長率見通しについて、IMFは2021年10月の発表で、2021年2.2%、2022年3.0%と予測した。一方、UAE中央銀行は、2021年9月に発表した同年第2四半期の経済レポートで、2021年は2.1%、2022年は4.2%と予測した。中央銀行は2022年の成長予測の背景として、原油価格の上昇や、2021年10月に開幕したドバイ万博の経済効果、新型コロナワクチンの接種が世界で普及し観光業の回復が見込まれること、2022年にカタールで開催予定のサッカー・ワールドカップの効果などのプラス要因を指摘している。

■輸出入はともに減少

2020年のUAEの貿易額（通関ベース）は、輸出が前年比13.0%減の1兆30億ディルハム、輸入は9.7%減の8,601億ディルハムとなった。1,429億ディルハムの貿易黒字となったが、前年の2,003億ディルハムの黒字と比べると、黒字幅は574億ディルハム縮小した。

表2 アラブ首長国連邦（UAE）の輸出入（通関ベース）

（単位：10億ディルハム、%）

	輸出（FOB）					輸入（CIF）			
	2019年		2020年			2019年		2020年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
石油輸出	220.8	140.9	14.0	△ 36.2	輸入（国内市場向け） フリーゾーン輸入	608.6	546.1	63.5	△ 10.3
原油	109.1	68.4	6.8	△ 37.3		343.5	314.0	36.5	△ 8.6
非石油輸出	415.0	394.5	39.3	△ 4.9					
再輸出	516.6	467.6	46.6	△ 9.5					
合計	1,152.4	1,003.0	100.0	△ 13.0	合計	952.1	860.1	100.0	△ 9.7

〔注〕2020年は暫定値。

〔出所〕UAE中央銀行、UAE連邦競争・統計局から作成

輸出額の内訳について、中東の貿易ハブであるドバイを擁するUAEでは、再輸出が46.6%を占めたが、前年比9.5%減となった。輸出額の14.0%を占める石油部門は36.2%減となった一方で、非石油輸出は4.9%減であった。

非石油部門の貿易について、UAE連邦競争力・統計局が発表した品目別貿易額（アブダビ国営石油会社〈ADNOC〉らによる石油関連輸出やフリーゾーン輸出などを除く）をみると、総輸出（地場輸出に再輸出を加えた額）は6,180億5,500万ディルハムで前年比10.3%減、輸入も7,851億1,200万ディルハムで14.2%減と、輸出入ともに減少した。しかし、輸出のうち、地場輸出は10.1%増加している。

地場輸出の43.9%を占める真珠・貴石・貴金属が47.0%増となった影響が大きいですが、金の国際価格が2020年に入り上昇し、高止まりを続けていることが背景にあるとみられる。

表3 アラブ首長国連邦(UAE)の非石油部門貿易(品目別輸出入)

(単位:100万ディルハム、%)

	地場輸出				再輸出				輸入					
	2019年		2020年		2019年		2020年		2019年		2020年			
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率		
真珠・貴石・貴金属	76,073	111,834	43.9	47.0	機械類および電気機器	168,154	154,840	42.6	△ 7.9	機械類および電気機器	238,194	221,368	28.2	△ 7.1
単金属およびその製品	48,523	42,393	16.6	△ 12.6	真珠・貴石・貴金属	99,586	53,341	14.7	△ 46.4	真珠・貴石・貴金属	215,132	192,698	24.5	△ 10.4
調製食品、飲料、アルコール、食酢、たばこ	21,792	22,560	8.9	3.5	車両・航空機・船舶	54,804	43,316	11.9	△ 21.0	車両・航空機・船舶	90,219	64,335	8.2	△ 28.7
プラスチックおよびゴム	17,298	20,817	8.2	20.3	化学工業製品	20,674	21,196	5.8	2.5	化学工業製品	57,492	49,730	6.3	△ 13.5
鉱物性生產品	21,544	13,104	5.1	△ 39.2	鉱物性生產品	25,041	15,679	4.3	△ 37.4	単金属およびその製品	55,292	47,615	6.1	△ 13.9
合計(その他含む)	231,237	254,642	100.0	10.1	合計(その他含む)	457,410	363,413	100.0	△ 20.5	合計(その他含む)	914,852	785,112	100.0	△ 14.2

[注] 石油輸出を含まない。本統計にはFOB、CIFの掲載がない。

[出所] UAE連邦競争・統計局から作成

輸出を国別にみると、地場輸出ではスイス向けが292億2,865万ディルハム(前年比39.8%増)で最大、次いでサウジアラビアが255億6,822万ディルハム(17.3%減)、インドが197億3,702万ディルハム(17.6%減)だった。再輸出はサウジアラビアが最大で545億6,834万ディルハム(4.6%減)、イラク406億197万ディルハム(1.6%減)、オマーン232億9,727万ディルハム(2.0%減)と続いた。

輸入も全体で14.2%減少しており、品目別にみても、主要品目は軒並み減少となった。国別では、中国からの輸入が1,444億2,962万ディルハム(前年比3.6%減)で最大となり、米国605億5,154万ディルハム(17.2%減)、インド604億8,615万ディルハム(38.4%減)で、日本はそれに続く4位の347億2,877万ディルハム(25.0%減)だった。

表4 アラブ首長国連邦(UAE)の非石油部門貿易(国別輸出入)

(単位:100万ディルハム、%)

	地場輸出				再輸出				輸入					
	2019年		2020年		2019年		2020年		2019年		2020年			
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率		
スイス	20,914	29,229	11.5	39.8	サウジアラビア	57,190	54,568	15.0	△ 4.6	中国	149,756	144,430	18.4	△ 3.6
サウジアラビア	30,925	25,568	10.0	△ 17.3	イラク	41,272	40,602	11.2	△ 1.6	米国	73,115	60,552	7.7	△ 17.2
インド	23,957	19,737	7.8	△ 17.6	オマーン	23,773	23,297	6.4	△ 2.0	インド	98,185	60,486	7.7	△ 38.4
トルコ	8,746	18,429	7.2	110.7	インド	29,910	22,322	6.1	△ 25.4	日本	46,325	34,729	4.4	△ 25.0
イタリア	1,675	18,229	7.2	988.4	中国	26,130	19,647	5.4	△ 24.8	ドイツ	36,998	26,711	3.4	△ 27.8
日本(12位)	4,434	3,341	1.3	△ 24.7	日本(31位)	2,996	1,860	0.5	△ 37.9	ギニア	8,744	25,093	3.2	187.0
合計(その他含む)	231,237	254,642	100.0	10.1	合計(その他含む)	457,410	363,413	100.0	△ 20.5	合計(その他含む)	914,852	785,112	100.0	△ 14.2

[注] 石油部門を含まない。本統計にはFOB、CIFの掲載がない。

[出所] UAE連邦競争・統計局から作成

■対内直接投資は前年比で増加

国連貿易開発会議(UNCTAD)によると、UAEの2020年の対内直接投資額(ネット、フロー)は前年比20億900万ドル増(11.2%増)の198億8,400万ドルで、対内直接投資が総固定資本形成に占める割合は22.3%と4.5ポイント増加した。対内直接投資残高は1,508億9,600万ドルとなり、GDPに対する割合は、前年から11.5ポイント増加の42.6%となった。対外直接投資額(ネット、フロー)は189億3,700万ドルで、前年比10.8%減となったが、対外直接投資残高は2,037億2,800万ドルとなり、GDPに対する割合は57.5%で前年から13.6ポイント増加した。

政府は新型コロナ禍でも外国企業の投資や高度外国人材を呼び込むために、各種の施策を実施した。2020年6月、UAEは連邦商業法を改正し、2021年6月より、これまで49%を上限としていたオンショア(非フリーゾーン)企業への外資比率を100%まで引き上げた¹。2020年11月には、民法と刑

¹ 首長国によって運用開始状況に差がある。2021年10月現在、会社設立許可状況については不明。

法の一部を改正し、飲酒に対する罰則廃止や、婚姻関係にない男女の同居の合法化、外国人の母国の相続法適用、名誉殺人や性犯罪への罰則強化などを実施した。またコンピューターエンジニアリング、バイオテクノロジー、人工知能 (AI) や疫学などの専門知識を持つ外国人を10年間有効な「ゴールデン・ビザ」の発給対象とするなど、UAEに居住する外国人に対する寛容な施策を打ち出している。UAEに住みながら外国にある企業での在宅勤務を可能にする「バーチャル・ワーク・プログラム」も開始するなど、優秀な外国人材を集め、UAEを「知のハブ」とするための政策を進めている。

■対日貿易、投資はいずれも減少

日本の対UAE貿易について、日本の財務省貿易統計をドル換算したものでみると、2020年の日本からUAEへの輸出は55億4,446万ドル（前年比22.8%減）、輸入は163億839万ドル（37.8%減）となった。日本はUAEにとって4位の輸入相手国となっているが、輸出入ともに大幅な前年比減となった。貿易赤字は107億6,393万ドル（43.4%減）と縮小している。

輸出では、53.7%のシェアを占める輸送用機器が前年比30.7%減となった。他部門も軒並み2桁台の減少となっている。輸入は、構成比の95.4%を占める鉱物性燃料が38.6%減となり、輸入全体の減少に大きく影響した。

表5 日本の対UAE主要品目別輸出入 <通関ベース>

(単位: 100万ドル、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2019年	2020年				2019年	2020年		
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
輸送用機器	4,294	2,975	53.7	△ 30.7	鉱物性燃料	25,342	15,556	95.4	△ 38.6
乗用車	3,189	2,014	36.3	△ 36.8	原油および粗油	21,865	13,643	83.7	△ 37.6
原料別製品	788	632	11.4	△ 19.8	石油製品	1,944	1,308	8.0	△ 32.7
鉄鋼	322	268	4.8	△ 16.8	揮発油	1,944	1,308	8.0	△ 32.7
一般機械	1,111	971	17.5	△ 12.6	液化天然ガス	1,131	425	2.6	△ 62.4
原動機	457	388	7.0	△ 15.1	液化石油ガス	401	180	1.1	△ 55.1
電気機器	352	272	4.9	△ 22.7	原料別製品	676	499	3.1	△ 26.2
音響・映像機器	49	46	0.8	△ 6.1	非鉄金属	664	492	3.0	△ 25.9
合計 (その他含む)	7,186	5,544	100.0	△ 22.8	合計 (その他含む)	26,201	16,308	100.0	△ 37.8

[出所] 財務省「貿易統計 (通関ベース)」から作成

2020年の直接投資額の動向は、日本銀行の国別・業種別対外・対内直接投資統計 (ネット、フロー) によると、日本からUAEへの直接投資額は72億円で前年から89億円の減少となり、3年連続で減少した。UAEから日本への直接投資額は9億円の引き揚げ超過となった。

2020年5月以降の1年間で、新たにUAEに現地法人を設立した日本企業としては、三菱総合研究所がドバイに営業拠点として支店を設立 (2021年3月)、西鉄グループの物流子会社がドバイに現地法人を設立 (2021年4月) などしている。

■新型コロナ対策を進めて経済回復を目指す

UAE政府は、新型コロナの世界的な感染拡大に対して機動的に対応し、2020年3～5月にかけて、国際旅客便の停止や夜間外出禁止令、4月にはドバイで約3週間の終日外出禁止措置を発令するなど、厳しい移動規制をとった。ワクチン接種推進の効果などもあり、2021年10月時点で新規感染者数

は1日当たり2桁台まで減少している。2021年7月以降は出入国規制などを緩和し、海外からの観光客を積極的に受け入れ、12月以降は大規模見本市をリアル開催するなど、国際社会に対して経済再開をアピールしている。新型コロナワクチンも、2020年12月には国民・居住者に対して接種を開始し、世界でも有数の早さで接種を進め、2021年9月には人口100人当たりの接種回数が世界で初めて200回を突破した。1年の延期を経て、2021年10月に開幕したドバイ万博をマイルストーンに据え、世界中から観光客を呼び込み、経済回復の機運にしようとしている。

また、未来志向の経済を実現すべく、2021年10月に2050年までにカーボンニュートラルを達成する目標を発表するなど、世界の潮流となった脱炭素への取り組みも進める計画だ。総発電量に占める再生エネルギーの割合を増やすべく、太陽光発電所の建設を進めている。水素やアンモニアの製造に関しても、ブルー・グリーン両輪でビジネスに参画する狙いで、国内企業が既に複数の製造計画を発表している。2021年8月にはADNOCがブルーアンモニアの輸出を発表し、伊藤忠商事が最初の顧客となっている。

主要経済指標

	2018年	2019年	2020年
①人口：928.2万人（2020年）			
②面積：8万3,600km ²			
③1人当たりGDP：3万1,982米ドル（2020年）			
④実質GDP成長率（%）	1.2	3.4	△6.1
⑤消費者物価上昇率（%）	3.1	△1.9	△2.1
⑥失業率（%）	-	-	-
⑦貿易収支（100万米ドル）	85,669	80,455	62,320
⑧経常収支（100万米ドル）	40,493	37,321	20,983
⑨外貨準備高（グロス） （10億米ドル）	99,194	107,258	103,199
⑩対外債務残高（グロス） （100万米ドル）	-	-	-
⑪為替レート（1米ドルにつき、 UAEディルハム、期中平均）	3.6725	3.6725	3.6725

〔注〕①③：推計値、④⑦⑧：2020年は推計値、⑦：国際収支ベース（財のみ）
〔出所〕①③④⑤：UAE連邦競争力・統計局、②経済省、⑦⑧⑨⑩：UAE中央銀行

（お問い合わせ先）

海外調査部 中東アフリカ課

ORH@jetro.go.jp